

# 鳥羽の海を考える

## 鳥羽市×日本財団「海と日本プロジェクト」

環境課環境保全係 ☎ 25 1147



5月31日(木)、日本財団「海と日本プロジェクト」の活動の一環で、海と日本プロジェクト in 三重県の推進リーダー・松下凪さんが鳥羽市を訪れ、中村市長と鳥羽の海について対談を行いました。



### 鳥羽の海の魅力とは

**中村市長** 鳥羽の海は、太平洋の外海と、伊勢湾の内海が混ざり合っています。それに加え、伊勢湾に流れる川からは、山の養分が海に注がれているため、鳥羽の海は魚などの成長に必要な栄養素が豊富に含まれています。

また鳥羽の海は、海に関するのならあらゆるものが楽しめます。例えば、遊覧船での島巡り、海水浴、マリンスポーツなどです。

レジャーで楽しめるだけでなく、魚や海藻など海の幸も豊富で、食も楽しむことができますよ。

**松下さん** 私も最近、鳥羽の豊かな海の幸を味わいました。鳥羽駅のすぐそばにある鳥羽マルシェで、さまざまな魚や海藻の料理をバイキング形式で食べることができ、鳥羽の海の豊かさが実感できました。

**中村市長** そうですね。鳥羽には、海はもちろん山のものなどもあり、おいしいものがたくさんあります。

**松下さん** 食べたいものがあります。ぜひ鳥羽のいろいろなおいしいものを召し上がってみてください。

### 鳥羽の海が抱える問題

**松下さん** 以前、海のごみが大量に集まる答志島へ視察に行つて、地元のかたと話しました。目の前にある大量のごみに驚いていたら、地元のかたに「今日は少ない方。答志島には伊勢湾にある4分の1以上のごみが集まるから、もっとひどいときが多い」と指摘されました。

**中村市長** 浜が見えないほどごみが集まる答志島の奈佐の浜は、浜自体が伊勢湾に向かって受けて口になっているんです。ごみ問題を解決するには発生の抑制が大事で、ごみを出さない、流さないことが大切です。一人一人が行動を変えていくことで、環境は変



海と日本プロジェクト in 三重県  
推進リーダー 松下 凪さん

えられないと思います。  
**松下さん** 少しの行動で変わるんです。

**中村市長** 流木などのごみに関しては、山の手入れをするだけで、下流域の状況が変わるので、そこを分かってほしいですね。

**松下さん** 流木などの自然系のごみを海に流さないようにするには、林業と河川の流域に住むかたがたの協力が必要なんです。

**中村市長** はい。海ごみの問題には、いろいろな要素があるんです。特に伊勢湾のごみは三重県だけの問題ではなく、上流域である愛知県や岐阜県も関わってくるので、みんな力で合わせなくてはならないと思います。

## 中村市長×推進リーダーが考える海とは

**中村市長** 最近、子どもたちが海で遊ばなくなつたのが気になります。時代の流れもあると思いますが、なんとかして、とにかく、子どもたちを海に連れ出したいんです。

**松下さん** 市長は子どものころ、どのような海の体験をしていたのですか？

**中村市長** 子どものころはよく海で泳いでいました。大人になつてからはシーカヤックを始めました。子ども会でもシーカヤック体験の機会を設けたところ、カヤックに乗って水に触れたことをきっかけに、子どもたちが海に興味を持つようになったんです。

子どもたちに海での体験を提供するのも大変なんですよ。

**中村市長** はい、こういう活動は、継続が非常に難しいので、鳥羽の全産業が一緒になつて取り組めればと思つています。そして、鳥羽の海が、子どもたちに海をよく知るきっかけとなる場所になつてほしいと思つています。

**松下さん** 推進リーダーとしての活動を通じて「海は身近な存在だ」と強く思つたので、それを多くのかたに広めたいと思つています。

## 海と日本プロジェクトの取り組みとは

**松下さん** 今年も、みえのうみ通信社を作り、子ども

記者に三重の海を取材してもらおうと考えています。特に今年は「伊勢志摩の海」を取材する予定なので、多くのかたに記事を読んでいただきたいです。

**中村市長** 子ども記者には海の博物館に行つてほしいですね。海の博物館は、子どもたちに人気の潜水艦があり、魚を捕る工夫、祭りやしぎたりを始めとする漁村文化などを楽しく学べる、とてもユニークな博物館ですよ。子どものときに体験したことは、すぐには分かんなくなつたとしても、大人になつて理解することもあります。ですから、とにかくスタートしてもらつて、心が肝心です。海の総合学習という意味で、海の博物館を利用してほしいですね。

**松下さん** はい。子ども記者のみんなにも伝えます。また、海と日本プロジェクトの活動として、県内でのイベントに参加したり、三重テレビで三重の海の魅力を発信する番組を放送したり、ホームページで番組を配信するなどして情報を発信しています。

**中村市長** ぜひ多くのかたに鳥羽の海の魅力や問題はもちろん、三重の海の魅力を発信してくださいね。

## 海を次世代に受け継ぐためには

**中村市長** 今も昔も海は変わらないですが、人の生活や環境の変化に伴つて、海で遊ぶ子どもたちが減つたと思つています。まずは子どもたちを海に連れていって、それをきっかけに子どもたちが海に興味を持つことが、次世代に海を引き継ぐコツなのではないでしょうか。

**松下さん** 鳥羽の海は利便性もいいですよ。

**中村市長** はい。国道や駅から海が近いので、鳥羽の海に来ることを強く推薦します。鳥羽の海には、泳いだり、釣りをしたり、海女文化もあります。離島もたくさんあつて、漁船、フェリー、定期船などの船が行き交つていまして、見どころがたくさんあるので、多くの子どもたちに来てほしいですね。

**松下さん** 市長も海の魅力を伝える活動をされているんですよ。

**中村市長** はい。多くのかたに海の魅力に気付いてほしいと思つています。その中でも力を入れていることの一つに、漂着物のアートがあります。気になる流木を拾つてきて、

それを組み合わせてアート作品にするというシンプルなものです。

**松下さん** 市長自ら指導をされているそうですね。

**中村市長** 流木アートは見ることも、作ることが楽しいので、私自身、指導者として学校へ教えに行くこともあります。そうすることで、海のごみの問題などを、自然に知ることができるようなんです。人生の早い段階でそのことに気付いてもらつて、海を気に掛けて生活するかたが増えてほしいと願つています。

**松下さん** 私も海のアートに挑戦できるのでしようか。

**中村市長** もちろん、誰でもできます！



鳥羽市長 中村 欣一郎



私にとって海とは？「庭」です！